

**対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力  
「フェア・プロスペクト公立小学校校舎建築・改修計画」  
引渡式**

2019年11月1日、ポートランド県において、対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力「フェア・プロスペクト公立小学校校舎建築・改修計画」の引渡式が実施されました。

山崎大使は挨拶の中で、ジャマイカにおける日本による草の根事業は1995年以来展開されており、特に教育分野への協力は人間の安全保障の実現に必要なものであると述べました。また、今般の事業によって、児童にとって良好な教育環境が実現することを強く期待しました。2019年度ラグビーワールドカップ、2020年度東京オリンピックの開催を紹介し、日本はジャマイカを含む全ての国々とのパートナーシップを一層強化していきたいとの期待を表明しました。

フェア・プロスペクト公立小学校は、同国東部のポートランド県フェア・プロスペクト地区に位置し、風雨による教室の損傷及び浸水等の雨水被害に悩まされていた他、児童数の急激な増加によって教室の収容人数を超えた過密状態での授業を強いられており、困難な教育環境が続いていました。

本計画によって、同学校の教育環境が大幅に向上し、児童の教育環境の改善及び地域の活性化に繋がることが期待されています。

今般の引渡式には、被供与団体である小学校の代表、バズ下院議員（ポートランド県東地区選出）、ブリム教育省第一地方局局长、国家教育基金等の教育・学校関係者、報道関係者、地域住民代表などの来賓が出席しました。

被供与団体の代表であるニュービル校長は、本事業は児童だけでなく、教師や地域住民にも裨益する効果があると述べ日本の支援に感謝しました。バズ下院議員は、教育は子供たちの未来の成功の鍵であると述べて、今般の日本の援助への深い感謝を述べました。



挨拶する山崎大使



バズ下院議員（ポートランド県東地区選出）



ニュフビル・フェア・プロスペクト公立小学校校長



感謝の歌を披露する児童代表



建築された新教室のテープカット



式典に参加する学校関係者、地域住民代表